

ちばかれんたより

特定非営利活動法人 千葉県精神障害者家族会連合会会報

第103号 2026年8月

発行者 〒260-0026

千葉市中央区千葉港 4 番 5 号

千葉県社会福祉センター内

TEL 090-3095-7938

FAX 0436-21-1930

✉ npochibakaren@gmail.com

千葉家連令和8年度通常総会報告(5月29日) 新理事長に深澤五郎氏を選出

総会は佐藤副理事長の開会の挨拶で始まり、理事会を代表して畑中理事長からこの 1 年間を振り返っての成果や問題点を明らかにすると同時に、体調の悪化により理事長を辞任したいとの表明がありました。

あわせて、本年2月9日に逝去した中村義光理事(野田市・さくらの友の会)への追悼の言葉を述べ、引き続き半澤副理事長から中村理事の功績の紹介がありました。

総会には来賓として千葉県健康福祉部障害者福祉推進課課長 葛見 浩様、同課精神保健福祉推進班 池田直樹様が出席され、葛見様からご挨拶をいただきました。

次いで議事に入り、執行部から第1号議案の令和7年度事業報告、第2号議案の令和7年度活動決算報告、第3号議案の令和7年度監査報告が一括提案されました。これに対し質疑はなく、採決の結果、賛成多数で承認されました。引き続き、執行部から第4号議案の理事長辞任の件について報告されました。

これは畑中理事長が体調不良により、令和8年度第2回理事会で辞任を申し出たところ、理事会としてこの申し出を了としたため辞任に至ったとの経過が報告されました。あわせて、同理事会で理事の互選により新たな理事長に深澤五郎氏(こすもす会)が選出されたことも報告がありました。

その後、執行部から第5号議案の令和8年度事業計画、令和8年度活動予算案が一括提案され、4名から意見が出されましたが、答弁の後に賛成多数で承認されました。

千葉家連通常総会の様子 千葉県社会福祉センターにて

決定された令和8年度の事業計画重点項目

1. 令和9年開催 みんなねっと千葉大会
2. 令和8年度 障害者週間の集い
3. 家族会の強化・活性化事業

の3点を重点項目に掲げました。



新理事長就任挨拶

～家族支援の新しいビジョン、英国に学び、千葉から未来を創る～

皆さまこんにちは。

(6月23日会長会の就任挨拶を掲載 深澤 五郎)

このたび、千葉県精神障害者家族会連合会の理事長を拝命いたしました深澤五郎です。

本日はこのような機会をいただき、心より感謝を申し上げます。

私はまず、長年にわたり千葉県の精神障害者福祉と家族支援のために尽力されてきた先輩方に深く敬意を表したいと思います。

私たち家族会は、長い歴史の中で数え切れないほどの家族を支えてきました。

(次ページへ)

しかし、私たちは大きな転換点に立っています。会員の高齢化、家族の孤立、8050問題、親亡き後問題、地域支援の不足、そして若い世代の家族会離れ。こうした課題に向き合いながら、家族会は次の時代へ進まなければなりません。私はその鍵が「家族支援の再構築」にあると考えています。

かつて精神医療の世界では、家族が病気の原因であるかのように見られた時代がありました。

しかし現在、世界の精神保健の流れは大きく変わっています。

英国では、「家族は問題ではない」「家族は回復のパートナーである」という考え方が社会の常識になっています。本人支援だけでなく、家族支援そのものが精神保健福祉施策の柱になっているのです。

私は、この考え方こそ日本が学ぶべきものだと思っています。

私自身、家族電話相談などを通じて多くの家族の声を聞いてきました。その中で感じるのは、「本人が苦しい」「家族も苦しい」、そして家族もまた支援を必要としているという現実です。だから私は声を大にして申し上げたいのです。「家族を支援してください」と、家族は支援者である前に一人の生活者であり、一人のケアラーです。家族が倒れれば本人も困ります。

確かに、困難な状況にあるのは家族ですが、気を付けねばならないことは、「批判や説得よりも理解」「命令よりも対話」「支配よりも信頼」です。その関わりが回復を支えるのです。

家族会も、そうした対話の文化を育てる場でありたいと思います。

私は理事長として次の四つの目標を掲げます。

第一に、孤立しない家族会づくり。

第二に、学び続ける家族会づくり。

第三に、政策提言できる家族会づくり。

第四に、54市町村へ広がる家族支援ネットワークづくりです。



そして、将来的には「千葉モデル」と呼ばれる家族支援の仕組みをつくりたいと考えています。

「英国リシンク考え方」「メリデン版家族支援」「ケアラー支援」「リカバリー理念」「選択理論」「地域包括ケア」、それらを統合した新しい家族支援モデルです。

千葉から全国へ、そして未来へ、私はそんな夢を描いています。最後になります。

私たち家族会の願いはただ一つです。精神障害があっても、その人らしく暮らせること。

家族が希望を持って生きられること。そして誰も孤立しない社会を実現することです。

そのために私は皆様とともに歩みます。どうか力をお貸しください。

共に新しい時代の家族支援を創っていきましょう。

2026 年度みんなねっと定期総会 のご報告

2026年度みんなねっとの定期総会は下記の如く開催。



日時 6月12日(金)12:30～

会場 東京都障害者福祉会館

対面と ZOOM のハイブリッド開催

【議案の経過】

○令和7年度事業・活動報告、収支決算について
賛成多数で可決成立。

○令和8年度事業計画、予算について 若干の質疑がありましたが、賛成多数で可決成立。

○次期役員選出についても賛成多数で可決されました。岡田理事長は続投されます。

※今期役員の詳細を閲覧したい方は、[みんなねっと](#)をご覧ください

2026 年度事業計画具体項目(抜粋) ～家族のみが担うケアから社会が担うケアへ、 提言の実現による構造的転換を目指す～

- ① みんなねっとと提言活動の推進と法制化への布石
- ② ①とともに、私たちの願いにそった精神医療改革の推進
- ③ 組織基盤の強靱化と事務局機能の専門家
- ④ 次世代への継承と多角的な相談支援
- ⑤ 共生社会の実現に向けた広報とネットワーク



みんなねっと 関東ブロック大会 2026 in 栃木 のお知らせ

栃木県連よりお知らせが届きました。今年の関東ブロック大会は栃木県宇都宮で開催します。

テーマ 明日につながる家族の対応 ～自立への旅立ち・親あるうちにどうすべきか～

日時 令和8年11月6日(金) 9:50～16:00

会場 ライトキューブ宇都宮 (JR 宇都宮駅東口 徒歩 2～3 分)

内容 オープニングセレモニー

○宇都宮やしお会会員 小川 三好 氏

複音ハーモニカとギター伴奏で歌唱

○宇都宮市における障がい者の「親亡き後」の取組について

宇都宮市障がい福祉課長 金子 正明 氏

基調講演 演題「本人を支える家族も支える～家族が《家族》であるために～」

演者 淑徳大学准教授 伊藤 千尋 氏

一般社団法人ジャパンファミリーワークプロジェクト理事

パネルディスカッション 「親あるうちにやってほしいこと」

パネラー 当事者・家族・医療福祉従事者

◎参加費無料◎

千葉からみんなで
宇都宮へ行こう！



栃木県の花
ヤシオツツジ

第18回 全国精神福祉家族会大会みんなねっと in 長崎 のお知らせ

今年のみんなねっと全国大会は長崎県で開催されます。

テーマ 『共に生きる社会の力』 支え合い、学び合い、次世代へつなぐ平和な未来

日程 11月20日(金)、21日(土)

会場 ベネックス長崎ブリックホール 国際会議場

記念講演 サヘル・ローズ 氏 (イラン出身 俳優・タレント・人権活動家)

開催形式 ハイブリッド開催

会場定員 540 名 ※要申込

参加費 家族・一般 3,000 円/当事者・学生 1,000 円

※プログラム・参加申し込み等詳細は月刊みんなねっと誌 8 月号に掲載



7月30日(木) in 市川

国民民主党・岡野純子衆議院議員とヒアリングを行う

深澤理事長、佐藤副理事長、半澤副理事長の3名が同席し、国民民主党岡野純子衆議院議員(南関東ブロック選出)に政策要望を伝える機会を得ました。

岡野衆議院議員は京都出身48歳、同志社大学卒業、NHK 松山支社勤務、浦安市議を3期務めた後、2024年の衆院選で初当選。さらに2026年2月の衆院選で比例南関東ブロックより2回目の当選を果たし、現在は厚生労働委員会に所属。社会的弱者のための政治を目指し、医療/福祉/労働分野に力を入れていきたいと信念を語られました。

ヒアリングは、千葉家連が作成した『精神保健医療福祉改革への要望書』をもとに精神障害者と家族の困難な実態を伝え、先進的なイタリア・フィンランド・ベルギー等諸外国との違いを説明し、それに岡野議員が質問するという形で進められ、予定時間の30分を大幅に超えて1時間程度行われました。

国会議員とのヒアリングは新体制では初めてのことで戸惑いましたが機会を逃さず、今後も国会議員に限らず、県会議員や市町村議員との関わりを強めていかなければならないと考えています。



令和8年度障害者週間の集い 概要決まる

令和8年度の障害者週間の集いは、6月23日に開催しました「令和8年度第1回会長会」を経て大筋次のように決まりました。家族会から多くの皆さんの参加をお待ちしております。

<開催要項>

1. 開催日／12月5日(土) 13:00～16:00
2. 開催場所／千葉県社会福祉センター2階 研修室 A・B・C
*収容人数／300名(研修室A／111名、研修室B／81名、研修室C／108名)のところ、
*一部屋の一部を作品展等の会場にします。
3. 集いの開催内容
*メイン企画 昨年に続き映写会を実施
・タイトル『精神病院のない社会』大熊一夫監督 作(1時間37分)
・「討論のしおり」を500円にて希望者に頒布します。32ページ立ての立派なカラー冊子です。
*参加者による交流会
・会場は研修室A・B・Cを使用して行いますが、最大で200名を見込んでいます。
・テーマは映画鑑賞後の意見交換会になります。皆さんの闊達な交流を期待します。
*心の美術展、作業所自主製作品展示会
○心の美術展は研修室を使用して行います。
○今年度は予算の関係から参加賞(500円のクオカード)のみとします。
4. 今後の予定
*集いのチラシ他、必要な案内文書の作成(8月中に完了予定)と配布。
*参加者の募集 各家族会、県内の医療機関、福祉事業所等関係各機関に呼びかけます。
*心の美術展の出展募集 同上

令和9年みんなねっと千葉大会のお知らせ

これまで淑徳大学にて9月3日開催とお伝えしてきましたが、千葉市のご配慮により下記のとおり開催できることになりましたのでお知らせします。

日程 令和9年11月12日(金)、13日(土)

会場 千葉市文化センター

内容 千葉大会準備委員会にてプログラムや招聘講師など煮詰めていきます。その後実行委員会を設立し、具体的な作業に移っていきます。千葉市内及び県内の家族会の皆さまのご支援をいただきながら、千葉大会を契機に家族会活動を盛り上げていきましょう。
今後は「ちばかれん31」等にて随時ご案内いたします。

【編集後記】

この夏は、酷暑日や熱中症など暑さに関する報道が多く、異常気象を嘆いていた矢先の8月13日に千葉県を記録的な豪雨が襲いました。県内各地で人的・物的被害が多く出ましたが、皆様のお住まいになる地域ではどうだったでしょうか。被害にあわれた方々に心からお見舞い申し上げます。

7月28日には熊本地震で多くの被害が出ました。「天災は忘れた頃にやってくる」と言いますが、天災という言葉だけでは片づけられない問題も多くあると考える今日この頃です。

まだまだ暑い日が続きますが、共に暑い夏を乗り切っていきましょう。(佐藤：記)

